新県立中央図書館整備事業設計業務委託　基本設計（概要版）

C+A・アイダアトリエ・日建設計（エンジニアリング）設計企業体

多様な情報アクセスを保障するインクルーシブな社会の拠点＜サンクチュアリとしての図書館＞

豊かな資料体のボリュームを視覚的に体感できるように、ビブリオスケープとして魅力的にデザイン。

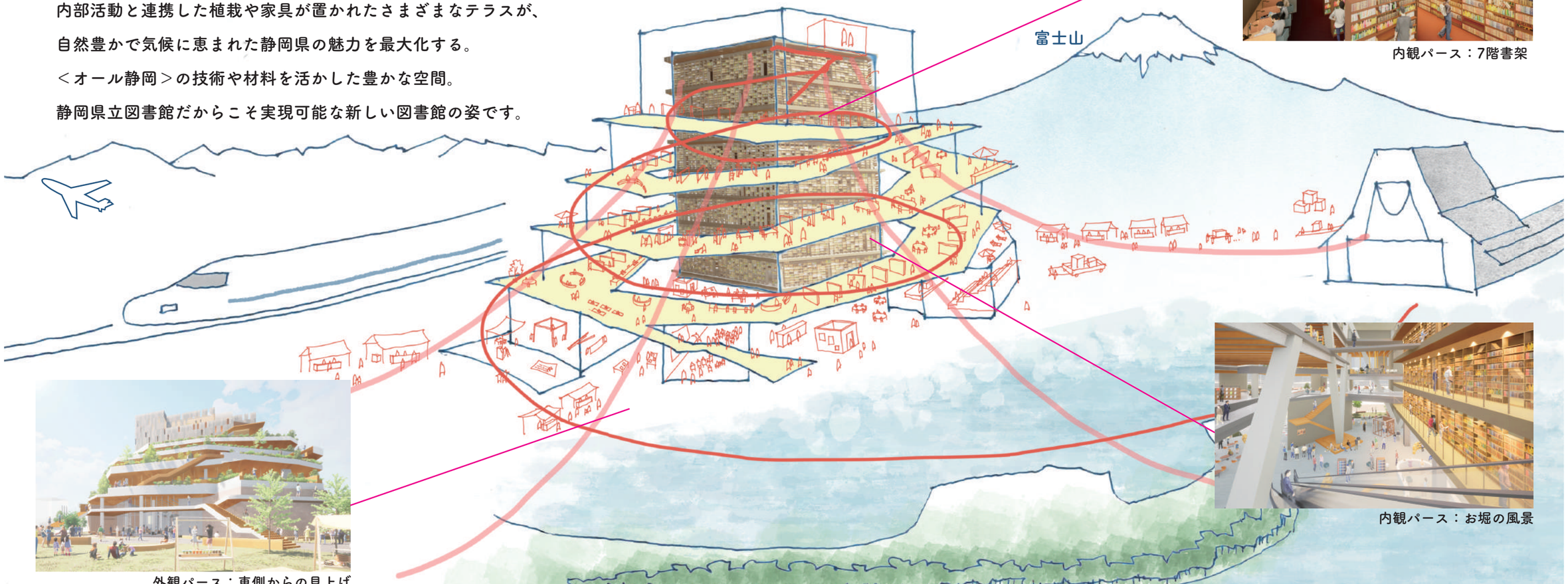
新たな発見や活動を生み出す、誰にでも開かれた学び・交流・創造の場。

内部活動と連携した植栽や家具が置かれたさまざまなテラスが、

自然豊かで気候に恵まれた静岡県の魅力を最大化する。

＜オール静岡＞の技術や材料を活かした豊かな空間。

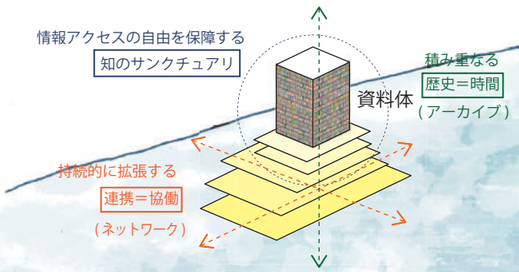
静岡県立図書館だからこそ実現可能な新しい図書館の姿です。



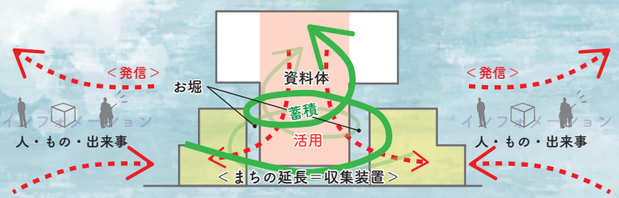
内観パース：7階書架

内観パース：お堀の風景

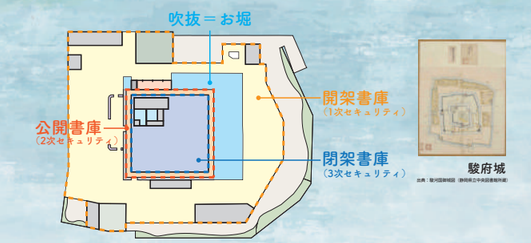
外観パース：東側からの見上げ



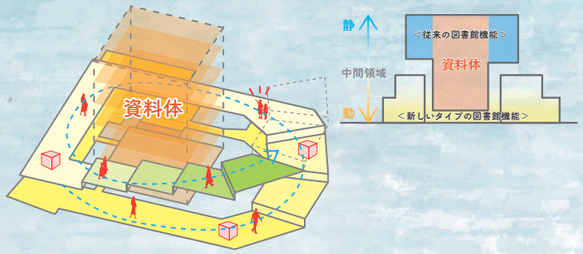
垂直方向の資料体（歴史＝アーカイブ）とまちの現代につながる水平方向のネットワークの結節点となる図書館



起こる「出来事」、集まる「人」、創られた「もの」など様々な情報を扱うことにより本やデジタル情報として蓄積され活用されていく



駿府城の城郭を暗示させる同心円状のセキュリティ＝資料体とまちの延長である閲覧空間を隔てるお堀



まちから引き込んだ様々な事象は下階の新しいタイプの図書館を通り上階の従来のタイプの図書館へと緩やかに繋げていく

NIKKEN EXPERIENCE, INTEGRATED

AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

① 基本理念・設計主旨

(1) 基本理念

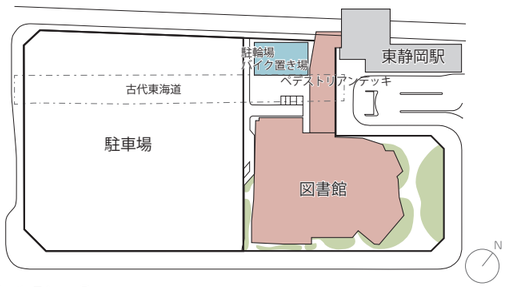
「『知のサンクチュアリ』と『コモンズとしてのビブリオスケープ(資料体の景観)』」および「ダイバーシティの確立」、さらには「地域に対する貢献」という三つの観点を考慮に入れて、従来型の図書館機能と交流スペースをはじめとした新しいタイプの図書館機能を融合させた、「一施設一機能」でありながら多様なニーズに対応する新しい図書館の実現に努めます。「知の生態系」を表現したビブリオスケープとして魅力的にデザインすることをコンセプトとして、豊かな資料体のボリュームを視覚的に体感できるように表現しています。また、図書館は身体や認知のバリアをもつ方々、LGBTQ の人々や県在住外国人の方々などを含む多様なコミュニティに対して、情報へのアクセスや知識の共有を平等かつ包括的に提供することを保証しているため、「インクルーシブな社会」を先導し、社会全体の理解と包摂性を促進する重要な役割を果たします。さらに、資料だけではない情報源へのアクセスあるいは学習機会の創出、スパイラルアップの床構成による創造性の刺激、環境に配慮した持続可能性が高い図書館建築とすることで、知を生かす地域創造の場であり続けます。

(2) 設計主旨

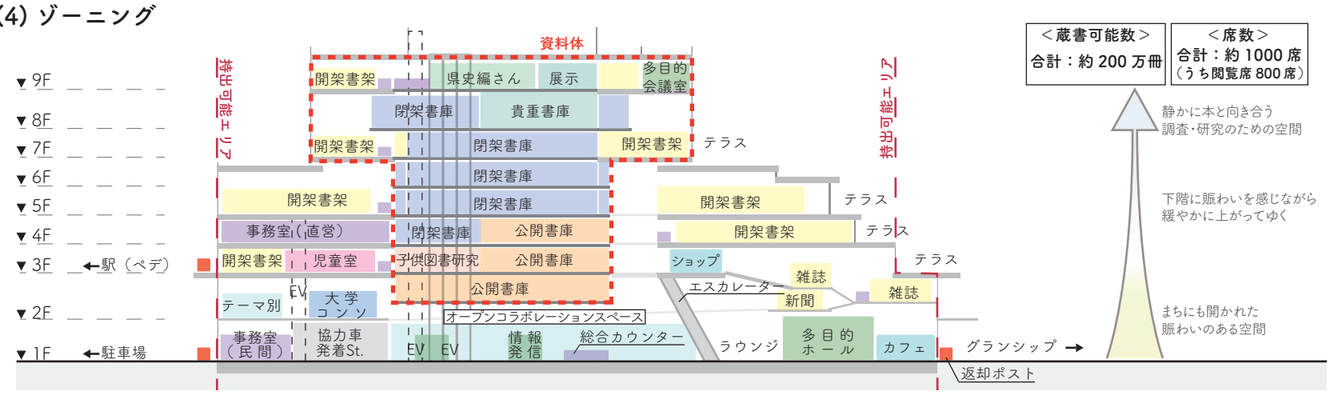
図書館の中心部に圧倒的な資料体（歴史＝アーカイブ）のボリュームを垂直方向に視覚化します。低層階は人々の多様な活動を喚起する、誰にでも開かれた学び・交流・創造（連携＝ネットワーク）の場として、水平方向に広がりまちと繋がる空間とします。中心にある資料体の周囲を、低層階のにぎわい空間から徐々に上昇するようにスパイラル状のスラブ（床）が取り囲む構成は、県全域に広がる様々な活動や情報が集まり、交流が生まれ、その記録が資料体に蓄積されていくイメージと重なります。同時にスパイラル状の空間は吹き抜けを介して資料体を常に感じながら自由に散策できる構成として外部のテラス空間とも一体になっており、低層階のにぎわい空間から徐々に上層階の落ち着いた静かな空間へ、そして富士山を望む富士山テラスや最上階の貴重資料等へと来館者をいざないます。資料体と吹き抜け、スパイラル状のスラブから成る構成が、一体空間として上下の階層の分断を感じることなく歩き回りたくなるような大きな魅力をつくり出します。

(3) 配置計画

東静岡駅と最短でつながる位置に図書館を配置し、ペデストリアンデッキは古代東海道をまたがるように駅と図書館を繋ぐ計画としている。敷地西側には駐車場を配置した。

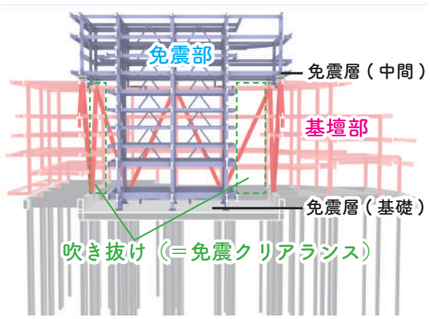


(4) ゾーニング



【構造計画】

地震環境に適応した免震・制振計画により、安全性の確保と機能維持を実現します



高い耐震性能と空間のつながりを実現する構造計画・免震層に段差（中間層と資料体下の基礎）を設けることで、免震層による空間の分断を最小限にすることができ、まちとのつながりと、吹抜けによる内部のつながりを実現します。

・資料体まわりの吹抜けを免震クリアランスとして利用することで、建築のコンセプトと免震機能が融合した計画とします。

・免震部は、長周期化して南海トラフ地震の強震を免れることができ、閲覧者と貴重図書を含む多くの本を大地震から守ることができます。

・基壇部は、吹抜け周囲に配置した内郭ラチス構造と粘性制振壁により、高い耐震性能を確保します。

【工程計画】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
基本設計	実施設計	入札	工事		完成

【設備計画】

脱炭素社会に貢献する省エネルギーの実現とメンテナンス性向上に配慮した設備計画

・空調：高効率熱源システム・居住域空調
・給水：上水・工業用水・雨水による多重水源
・排水：自然流下方式・汚水雨水分流
・電気：タスクアンビエント照明、LED 照明、照明人感制御

【防火・避難計画】

全館避難安全検証法により、上階からの避難時間を確保して安全に避難できる計画とします。

【全体事業費】

192 億円程度（物価高騰分は今後精査）

※設計、建設（図書館施設、ペデストリアンデッキ、駐車場等）、備品、システム費等含む

【環境配慮】

太陽光発電や雨水利用などの自然エネルギーを利用し、高効率・高性能な機器や技術を組み合わせた設備計画と熱負荷を抑制する建築計画による ZEB Ready の実現を目指します。

【県産木材の活用】

「ふじのくに公共建築物木使い推進プラン」による 200㎥に加え、300㎥多い計 500㎥を積極的に使用することで、県産木材の良さをアピールし、温かみのある空間づくりを目指します。

＜データシート＞

【建築概要】
所在地：静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目
敷地面積：24,320.06㎡（駐車場含む）
区域区分：市街化区域
用途地域：商業地域
延床面積：約 19,800㎡
規模：地上 9 階
構造形式：鉄骨造
耐火性能：耐火建築物
駐車場台数：550 台
駐輪場台数：370 台
バイク置場：41 台

【構造】
主体構造：鉄骨造
　　一部 CFT 造（中間層免震）
基礎：杭基礎（既製杭）

【設備】
空調設備：空冷モジュールチラー、空調機
衛生設備：増圧給水、加圧給水、局所給湯
電気設備：6.6kV 受電、非常用発電機、
　　太陽光発電
防災設備：屋内消火栓、連結送水管

【仕上】
ー図書館ー
＜外部仕上＞
床：再生木デッキ、コンクリートブロック
壁：押出成形セメント板、
　有孔アルミパネル、リシン吹付
軒：杉羽目板
＜内部仕上＞
床：リノリウム、タイルカーペット、
　フローリング、カーペット
壁：プラスターボード、杉羽目板、
　ホワイトボード
天井：岩綿吸音板、CLT 型枠、木ルーバー
ーペデストリアンデッキー
床：タイル、一部再生木デッキ
軒：杉羽目板
屋根：ハニカムパネル

【面積】

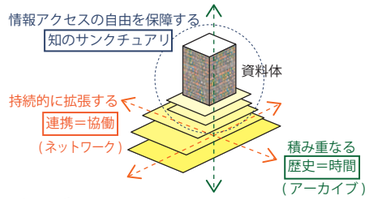
従来の図書館機能	:	約 16,100㎡
新しいタイプの図書館機能	:	約 3,700㎡
合計	:	**約 19,800㎡**

Coelacanth and Associates Inc.
CAt(C+A tokyo)
NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

建築計画　　基本方針

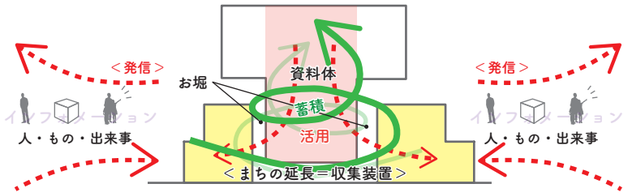
1．資料体（歴史＝アーカイブ）と街＝現在（いま）の結節点に存在する図書館

垂直に広がる資料体（歴史＝アーカイブ）と、まちの現代（いま）へつながる水平方向のネットワークの結節点に位置しています。ここに集まり、起こる様々な事象の成果は資料体へ収蔵されて行きます。



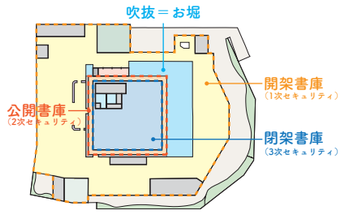
2．「人・モノ・コト」の様々な情報を扱い蓄積し活用に繋げる

資料体の周りを囲むまちの延長により収集された様々な事象＝「人・モノ・出来事」は資料体に蓄積されていきます。そこでの様々な事象や、蓄積された資料を用いた活動を発信していくことで、次なる活動が生まれ、情報がより集まってくるサイクルを生み出す場となります。



3．駿府城の城郭を暗示させる資料を守る構成

駿府城の城郭を暗示させる建築の構成は、資料を守る県立図書館としてのセキュリティとリンクした構成になっています。まちの延長である開架書庫から、お堀（＝吹抜）を渡り公開書庫へのアクセスが可能です。閉架書庫も一般利用者からは隔離されたお堀の内側に配置されています。

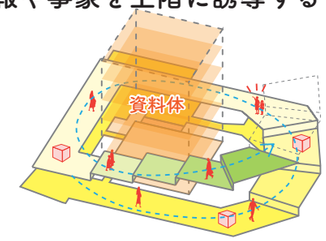


駿府城

出典：駿河国御城図（静岡県立中央図書館所蔵）

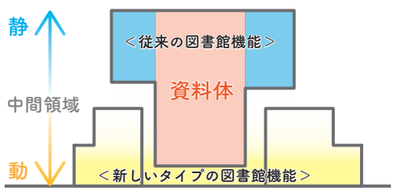
4．資料体を囲む街の延長をスパイラルアップし、情報や事象を上階に誘導する

まちとつながる下階の新しいタイプの図書館機能から、上階の従来の図書館機能へスパイラルアップしていく構成を作ることで、様々な事象を資料体へ吸い上げる垂直の動きを作り出す空間装置としています。この空間装置はふたつの図書館機能を緩やかに繋げる役割を果たし、利用者が散策して居場所を選べるような図書・閲覧空間となっています。



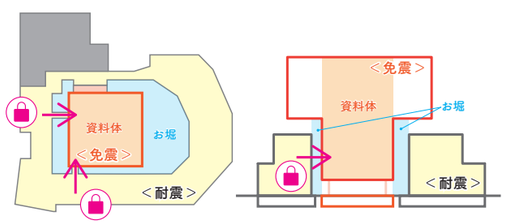
5．低層階から上層階へ、ゆるやかにつながるグラデーショナルなゾーニング

低層階には、新たな発見や活動を生み出す誰にでも開かれた協働・学び合いの場として、活気や賑わい溢れる「新しいタイプの図書館」を配置します。上層階になるにつれて静かに読書や研究に没頭できる、落ち着きのある「従来の図書館」へとグラデーショナルに変化します。全体性を持ちながらも目的に応じたゾーニングによる空間構成です。



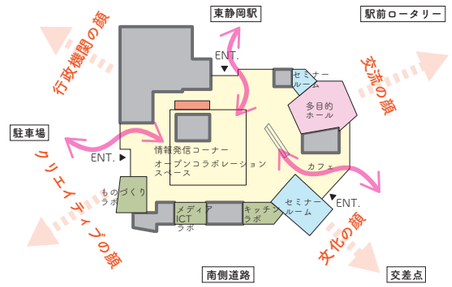
6．資料のセキュリティグラデーションとリンクした構造計画

セキュリティの高い資料体と、まちの延長である閲覧・図書空間はそれぞれ異なる構造種別にて計画しています。多くの資料を計画している部分はより安全な免震構造とし、閲覧・図書空間については耐震構造を採用しています。またお堀は、異なる揺れ方をする耐震構造と免震構造のボリュームの縁を物理的に切る免振クリアランスの役割も担っています。



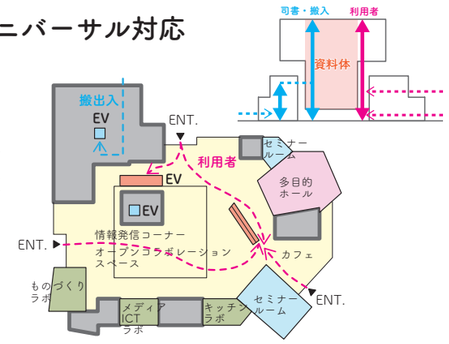
7．街に対して様々な顔を持つ平面計画

東静岡駅（ロータリー）、駅前交差点、駐車場からの来館アクセス、南北の道路と多方面に正面性をもつ敷地の特性を活かし、様々な顔を持つ平面計画を行いました。駅前のロータリーには多目的ホールが面し交流する場としての顔を持ちます。また人が行き交う交差点には文化の顔となるセミナールームを配置し、南側の道路に面してはラボなどを配置しクリエイティブな活動が垣間見えるような表情を作り、駐車場、搬入動線側には事務機能を配置することで行政機関（管理）の顔を持ちます。



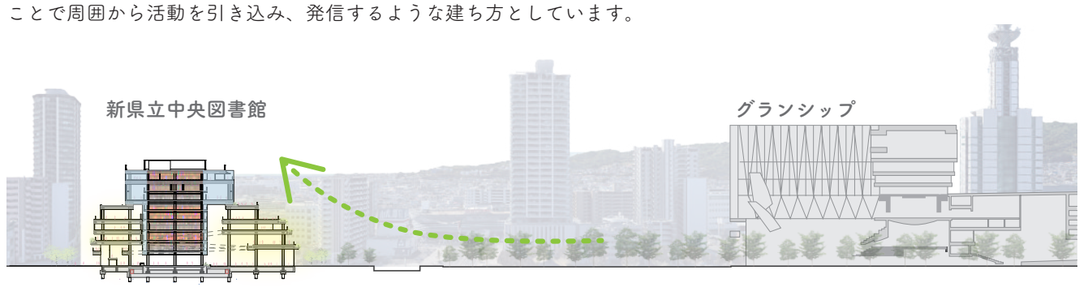
8．利用者・司書・物流のわかりやすい動線とユニバーサル対応

利用者動線は低層階のエスカレーターに加え、わかりやすい位置にエレベーターや階段、スロープを配置しています。また司書動線、書籍・資料の動線は搬入口から事務室までに加えて、資料体の内部で上下移動可能なエレベーターを配置するなど管理動線とサービス動線を分離した計画としています。車いす駐車場から図書館への動線に配慮し、視覚障害者にも配慮した音声案内などを計画することで、一般来館者や職員にかかわらず、すべての人たちにとってわかりやすく合理的な計画としています。



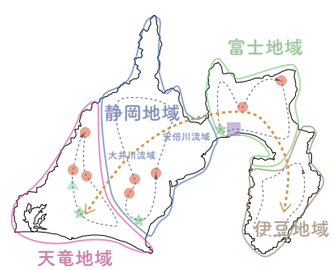
9．グランシップ前広場を立体的に連続させアクティビティを誘発する外部空間

東静岡駅前に位置するグランシップ前広場の広がりやアクティビティを立体的に連続させながら、内部の閲覧スペースの延長としても様々な活動のきっかけや居場所となるようなテラスを配置することによって内部空間だけでなく周辺環境に対しても快適な空間を作ります。駅前のロータリーやグランシップ側から見上げた時に人々の活動が見えるようにセットバックしたテラスとしています。また駅周辺の高い建物からはテラスでの活動が見え、それらの中心に位置することで周囲から活動を引き込み、発信するような建ち方としています。



10．静岡全域の木材を活用した計画

木材の生産が豊かな静岡県では県全域で（主にスギ、ヒノキなどの）木材が採れます。新しい県立図書館では県全域の木材をふんだんに活用し、温かみがあり、親しみやすい空間をつくります。



11．環境に配慮した居心地の良い図書と向き合う空間

環境に配慮した資材、機器を選定し、かつ室内環境を考慮するとともに、利用者の快適性と利便性を確保した空間としつつ ZEB Ready、CASBEE の取得を目指します。また資材、機器の選定にあたっては維持管理の容易性やライフサイクルコストの軽減が図られるように配慮します。

Coelacanth and Associates Inc.
CAt(C+A tokyo)
NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

東側外観

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp
Coelacanth and Associates Inc.
CAE(C+A tokyo)

ペデストリアンデッキ外観

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

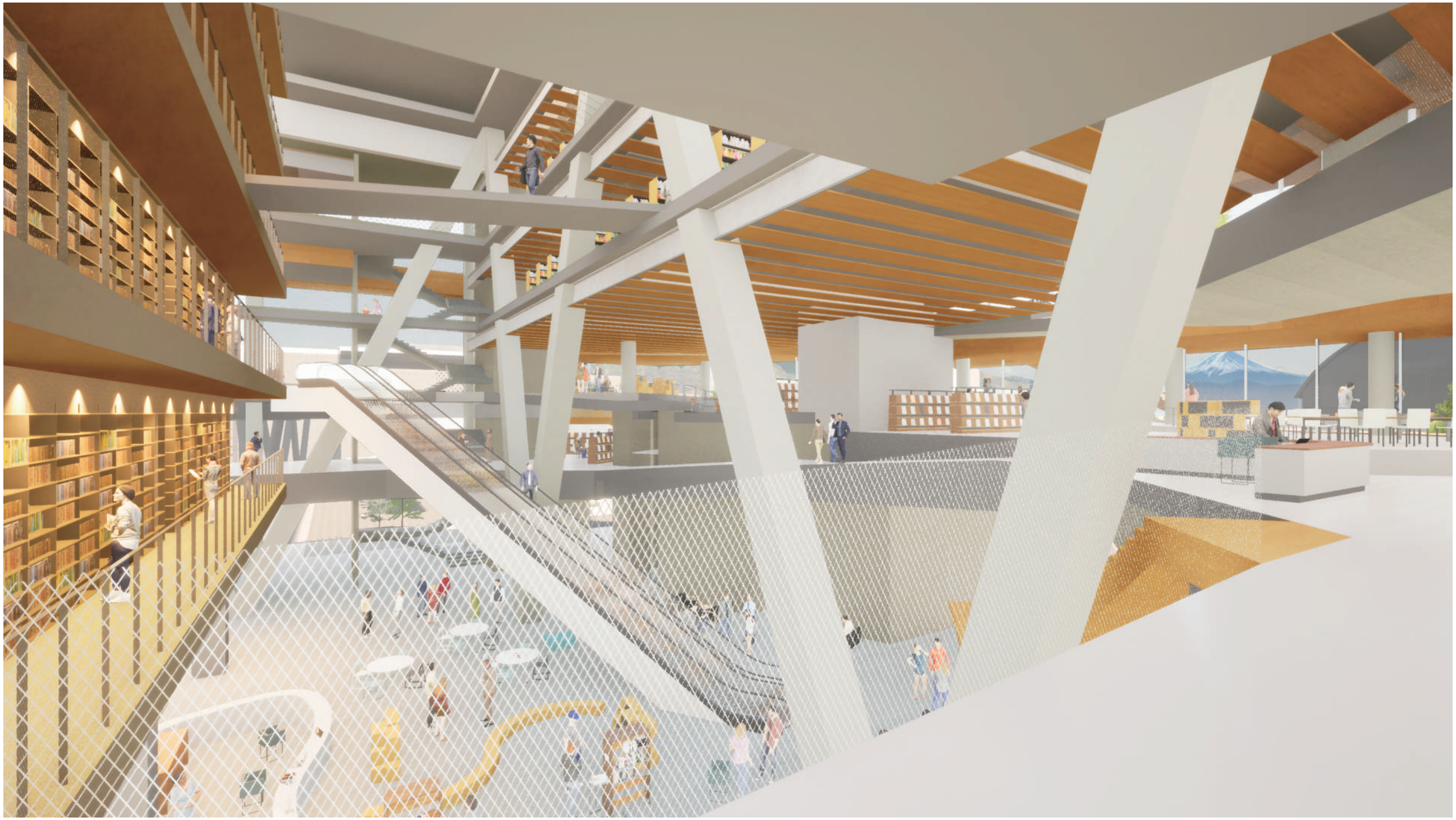
南側外観

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

3F から吹抜けを見る

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

2F から吹抜けをみる



Coelacanth and Associates Inc.
CAt(C+A tokyo)
NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

7F 書架

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp
Coelacanth and Associates Inc.
CAt(C+A tokyo)

東側鳥瞰図

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp
Coelacanth and Associates Inc.
CAt(C+A tokyo)

北側鳥瞰図

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

南側鳥瞰図

Coelacanth and Associates Inc.
CAt(C+A tokyo)
NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp

ペデストリアンデッキ鳥瞰図

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
AIDA ATELIER
www.aidaa.jp